

# 中一 国語科通信

第1号  
平成30年4月21日  
国語科1年担当  
奥池・日高・篠間



冬の間は畑と化していし田にも  
水の張られて桜映れり

## 「脳味噌を動かす授業」

一年生の皆さん、改めまして、入学おめでとうございます。

入学式を終えてはや二週間が過ぎようとしています。毎日新しいことの連続で疲れていませんか？週末はしっかりと睡眠を取って、体力回復に努めてください。

さて、国語科では、新大学入試制度に向け、昨年度から様々な新しい取り組みを始めています。文章を論理的に読むための方法を探る「論理の虎」、宮崎にゆかりの深い『古事記』を一年間かけて読み通す「古事記の探究」、漢文や現代文など、名文を声に出して読む「素読」等々……。「やることいっぱい！」で最初は戸惑うかもしれませんが、一つ一つ、ゆつくりと進めていきますので、皆さんも一生懸命取り組んでください。

なお、今年度、一年国語科のローガンは「脳味噌を動かす」に決定しました。ポーンと授業を聞いているだけでは脳味噌は動きません。しっかりと考えて、表現して、脳味噌に大波を立たせてください！

## みんなの「ことば」を紹介します

毎日提出する国語の宅習ノートに、指定された「お題」に対する「答え」を書いてもらっています。主な目的は ①表現の楽しさを味わう ②自分の内面と向き合う ③教科担とのコミュニケーションです。

まだほんの数回ですが、みなさんが一生懸命取り組んでくれるので、私たちも楽しんで読んでいます。

これまでに印象的だった答えをいくつかご紹介いたします。

Q「ライバルはいますか？」

A：大親友のライバルがいます。これからも競い合って成長していきたいです。

A：ライバルは自分自身です。ついダラダラしたくなる自分の心に負けないで頑張ります。

Q「今、気になる有名人は？」

A：「ひよっこりはん」です。おもしろいと思うわけじゃないのに、なんだか気になります。

A：メジャーリーグで大活躍している大谷翔平選手。これからも二刀流を貫いてほしいです。

## 本を読もう

第一中学校では、朝の読書の時間や国語の授業内での素読、新聞を利用した取り組みなど、活字に触れる機会を多く設けています。もちろん、好きな本を自由に読んでもらうのも大歓迎！「ゴールデン・ウィーク中に読む本を一冊読んで、休み明けに読書案内を書いてもらおう」と思っています。現在、中学校舎二階に二年生の読書案内を掲示してありますので、参考にしてみてください。

## 「全力で生きる」

狭間千穂

初めまして。今年度、T Tで一年を担当することになりました。狭間千穂（はざま・ちほ）です。この学校に来て十八年目になります。所属は文理科ですが、現在中学校二年生も担当しています。

さて、今回このような通信を不定期に出すことになったのは、国語に対する皆さんの漠然とした不安（何をどう勉強すれば良いのかわからない・わからないから面白くない……）というマイナス要素を少しでも拭い去りたい！という思いから、です。いろんなことを考えて、それを表現していく、そのことの楽しさを知ってほしいのです。

様々な新しい取り組みを始めて一年が過ぎましたが、現在二年生の先輩達の反応は、「嫌いだった国語が好きになった」「なんとなく読んでいた説明文が、理解できるようになった」など、まずまず上々！だと自負しています。

人は、生まれ落ちた瞬間から、「死」に向かって歩き始めます。一生懸命頑張って生きて、その目的が「死」？なんて、ちよつとむなしさを感じてもいいけど、だからこそ、「明日死んでも後悔しないよう、今日を全力で生きる」——。皆さんにもそんな「今日」を生きてほしいのです。

# 中二国語科通信

第1号  
平成30年4月21日  
国語科1年担当  
奥池・日高・徳間



## 「脳味噌を動かす授業」

始まりました「脳味噌を動かす授業」二年目！一中国語科では、今年度もこのスローガンを継続します。昨年度、脳味噌にさざ波は立ちましたか？中には、毎時間荒波が立っていた人もいましたね。しかしその一方で、(脳味噌の)表面が微動だにしなかった人も多くいました。とっつっつっつっつっても残念です。

思うようにいかなかった人も、一度リセットして、心機一転がんばりましょう。

## 第1回漢字大会

4月24日(火)に、今年度初の漢字大会が実施されます。宅習ノートでも練習を重ねていると思いますが、1年間パーフェクトだった人には賞状が贈られますので、第1回から失敗しないように、週末を利用して十分に準備しておいてください。特に、昨年度ふがいなかったそのアナタ！アナタのことですよ!!!



皆さんの「はるどく」は、中学校校舎二階の廊下に掲示しています。また、図書館には六点掲示しています。今回はその中から三点を紹介しします。

### 『竜の木の約束』濱野京子

●この本では、二人の女の子が本当の自分と理想の自分の姿のギャップを感じ、親に本当の自分の姿をさらけ出すことで「キアラ」という自分を縛るくさりから徐々にとき放たれる話だ。起承転結がハツキリしていてハラハラ、ドキドキする場面がたくさんあり、読み出すと止まらなくなるので時間があるときに一気に読むべきだ。  
(三組 N)

### 『夜のピクニック』恩田陸

●高校生活最後の一大イベントである歩行祭。夜を徹して八十キロを歩くことで今まで以上に絆が深まります。なかでも、融と貴子には秘密があり、歩行祭の中で事実を受けとめようとする場面が魅力的です。どの場所においてもみんなはつながっていて、歩行祭に参加しています。第一中の強歩会と似ている部分がたくさんありますよ。  
(二組 S)

## お迎えを急ぐいつもの道の辺に うす紫の山藤咲けり

### 『紙コップのオリオン』市川朔久子

●中学二年生の橋論里は、ある日学校から帰ってくると、母親が書き置きを残して旅に出ている。一方、学校では、創立二十周年記念行事の実行委員になり、キャンドルナイトをすることに。なぜ母親は旅に出たのか、キャンドルナイトは成功するのにか。この本は、星座を通して人と人との「つながり」を感じられる心温まる物語だ。  
(二組 I)

## 本を読もう

昨年度は、読書の時間や国語の授業内での素読など、活字に触れる機会を多く設けました。これからもどんどん、いろんな本に触れてほしいと思います。そこで、ゴールデンウィーク明けにも、再び読書案内を書いてもらおうと思っています。長い本を読みたい人、ゴールデンウィークには旅行に行くからちよつと読めないなあ……という人は、早めに借りて読み始めるのと良いでしょう。

## 「いとのはのいと」

日高由里子

五年間一人っ子だった息子が、十月にお兄ちゃんになります。うれしくてたまらない反面、複雑な思いもあるようです。「あかちゃんがきたら、もうぼくはだっこしてもらえないの？」と言われたときはドキッとしました。

五歳児は、言いたいことを言葉にするだけのボキャブラリーと、心の中をさらけ出す素直さの両方持っているのだと思います。当然のことながら、中学生のみなさんは五歳児よりもボキャブラリーは豊富。でも、思っていることを言葉にすることができなくなってきたのでは？

これもきつと成長の一つ。でも、苦しい時やもやもやする時は、思い切って誰かに思いを打ち明けてみてください。聞いてもらうだけで気持ちが楽になることはたくさんあります。そしてあなたが思っている以上に、周りの人は力になるうとしてくれるものです。

自己表現の方法はいろいろありますが、やはり人間は「モノ言う動物」ですから、「話す」「書く」ことによる発信を大切にしたいものです。そして、「聞く」「読む」という受信も。今年も「脳味噌を動かす授業」を、二年生みんなで作っていきましょうね！